

手話に触れてみよう ～交通手段編～

今回も前回に引き続き移動手段として使うことの多い交通手段の表現を紹介します。

聴覚に障害のある人とのコミュニケーションの方法には、「手話」以外に「要約筆記」、「筆談」、「^{こうわ}口話」など様々な方法があります。本人が希望する方法でコミュニケーションをとることが大切です。

▶問合せ 役場福祉課障害福祉係 ☎295-2112(☎)114・115・116

来る



右手の人差し指を胸のあたりで立て、右ひじを中心に後ろに動かす

方法



両手の掌を下に向けて並べ、右手で左手の甲を2回軽くたたく

何?



右手の人差し指を立て、肩のあたりで左右に振る

～か?



喫茶ゆず 柏谷明美さん

どんな方法(交通手段)で来るのですか?

自転車です

自転車



両手を握って胸の高さでぐるっと回す(自転車をこぐように)

です



右手の掌を下に向けて、少し下げようにする

バスです

バス



両手の親指を立て、人差し指を横に出して向かい合わせ、そのまま前を出す

です



喫茶ゆず 島田裕紀子さん

※「喫茶ゆず」は、障害者が仕事を通して、多くの町民とふれあいながら働くことの楽しさや難しさを学び、同時に町民の皆さんに障害者に対する理解を得ることを目的として、中央公民館内に設置された喫茶コーナーです。(月～金曜日、午前10時～午後4時)



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

たくさんの味わい深く 迫力のある仏像が展示されました

第1回 木製仏像彫刻展

～奥深き仏像の彫刻展～

10月23日、24日、中央公民館で「第1回 木製仏像彫刻展 ～奥深き仏像の彫刻展～」が開催されました。展示された仏像は町内在住の横山誠一さんが作成したものです。横山さんは70歳ぐらいのころから6年間ぶつしにしして仏像彫刻を学び、4年前から個人で制作を始め、過去にも図書館で2回の個展を開催しています。仏像は全て手彫りで1本の木から彫りだしており、1体の仏像を完成させるのに3か月から4か月かかるということです。



元気いっぱい外遊び！

「へんしんバイク」が寄贈されました



11月16日、(株)ビタミン・ファクトリーからゆずの里保育園と旭台保育園へ3台ずつ、後からペダルがつけられる自転車「へんしんバイク」が寄贈されました。毛呂山町出身で副代表の庄司知志さん(写真右端)は、地元の子どもたちがコロナウイルスの状況下でも外で楽しく遊んでほしいという思いで毛呂山町に寄贈されたそうです。この「へんしんバイク」にはブレーキがついており、子どもたちが安全に遊べるようにと開発されています。

見事な菊が咲きました

東原団地「菊まつり」の開催



11月3日、東原団地中央広場で「菊まつり」が開催されました。例年6月に菊花会による菊苗の無料配布が行われますが、今年はコロナ禍の影響により中止となったため、希望する自治会に菊苗が配布されました。東原団地では区長さんを中心に丹精こめて育てたところ、見事な花を咲かせたことから、「菊まつり」を開催することになりました。当日は菊を鑑賞しながら、懇談や全身を使った体操などが行われ、会場は秋晴れの爽やかな空気の中、たくさんの笑顔にあふれていました。

車内を彩る沿線の風景

東上線沿線コロナに負けるな応援広告ジャック



10月下旬から東武東上線で沿線市町の観光PRポスターを掲示した車両(川越アートトレイン)が運行しています。これは東武鉄道が企画したもので、各自治体の風景やイベント等の写真を車両に掲示し、コロナで観光客が激減した沿線市町を応援するためのものです。毛呂山町は流鏝馬と特産品の桂木ゆずのポスターが掲示されています(令和3年3月末まで掲示)。